

7 家畜保健衛生所の新たな取り組み —地域への情報発信—

湘南家畜保健衛生所

宮地 明子 森村 裕之
渋谷 光彦 稲垣 靖子

はじめに

神奈川県は畜産が市街地で営んでいるという特徴がある。本県の人口は、現在900万人を超え、全国で二番目となっている。農場周囲においても都市化が進んでおり、地域住民に畜産を正しく理解してもらい、地域と共生することが、畜産経営を継続させる上でますます重要になってきている（写真1）。

家畜保健衛生所(以下、家保)はこれまで畜産農家に対して衛生指導等を行い、経営に有益な情報を提供しているが、新たな取り組みとして、地域に対して広く畜産に関する情報を発信し、関心をもってもらう事で、地域全体で畜産を理解し、畜産農家の経営継続につながるのではないかと考えた(図1)。

また、本県では、平成21年4月の家保再編整備により、家保の広報広聴を企画指導課が担当することになり、地域に対してより積極的に情報発信を行うこととした。

そこで、地域に対する新たな取り組みとして①食育出前授業、②子ども獣医師体験、③地元のイベント時における地域へのPR活動を行ったので、それぞれについて紹介する。



写真1 市街地での畜産経営

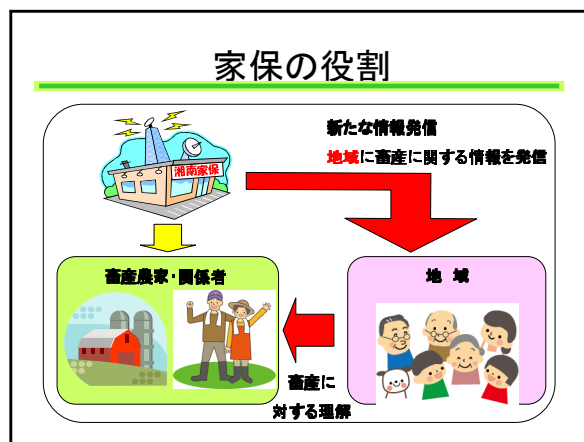


図1 地域への情報発信

I 食育出前授業


食育出前授業は食への理解促進、食育を浸透させることを目的とした「かながわ食育出前講座」事業の一環で実施した。平成21年12月11日、地元農業高校生産流通科を対象に「畜産物の流通」をテーマに50分の授業を2回実施した(表1)。

テーマは「畜産物の流通」なので、食卓にのぼる身近な畜産物を生徒に挙げさせ、畜産物が生活に欠かせない食品であることを確認した。スライドは、できるだけイラストや写真を多く使って視覚に訴えるものを作成し、また、質問を交え、生徒と対話をしながら授業をするよう工夫した(図2)。

次に、畜産の農場に話題を移し、家畜の品種や農場内での飼養管理や繁殖について、専門用語をわかりやすい言葉に置き換えながら、説明した。農場から出荷された家畜が様々な人の手を介して、加工、流通、販売され食卓にのぼる様子を伝えた。

最後に家保の業務内容について紹介し、家保職員は牛や豚の健康検査や衛生指導により家畜の健康を守り、安全な畜産物の生産を行う仕事をしていることを説明した。また、本県の畜産は農家戸数、頭数ともに減少傾向にあるが、年間166万人分の牛乳を生産していることなど、本県の畜産のすがたについて話を触れた。

表1 食育出前授業

I 食育出前授業	
時期	平成21年12月11日
対象	地元農業高校 生産流通科2・3年生
テーマ	「畜産物の流通」について
	<ul style="list-style-type: none"> ・身近な畜産物の紹介 ・農場から食卓まで ・家保業務と本県の畜産について
	
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; background-color: #e0f2f1;"> <p>「かながわ食育出前講座」 食への理解促進、食育を浸透</p> </div>	

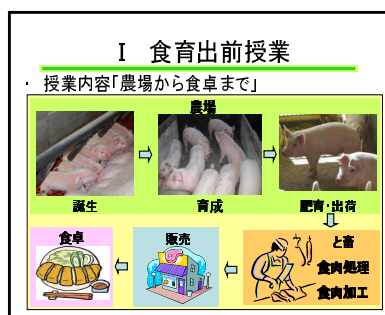


図2 授業で使用したスライド

授業では、スライドだけでなく、3色の卵を用意し、鶏の品種による卵殻の色の違いを説明したり、生徒が防疫服と面布を着用して、燻煙器を持ち、みつばちの衛生検査時の様子を体感してもらったりし、工夫した(写真2)。



写真2 卵や衛生検査器具等の実物で体感




写真3 授業風景

途中でレポートの時間を設け、生徒が授業の内容や感想をレポートにまとめるようにした(写真3)。生徒のレポートには、「農場や家畜、家保について初めて知ることがたくさんあった」という記述が多く見られ、畜産に対する理解促進につながったと思われる。

また、「命をもらっているから大切に食べなくてはいけない」という記述も見られ、生徒は食と命の関係を捉えることができ、食育についても理解を深めることができた(表2)。

表2 生徒のレポート

I 食育出前授業	
《生徒のレポート》	
<ul style="list-style-type: none"> 初めて知った事がたくさんあった 農場の育成・繁殖、家畜の品種、家保業務 畜産に対する理解促進 命をもらっているから大切に食べなくてはいけない 「食」と「命」の関係を理解、食育の浸透 	


II 子ども獣医師体験

平成22年10月3日に行われた県獣医師会主催の動物フェスティバルにおいて、子ども獣医師体験コーナーを設置して実施した。これは、特別な予算措置を伴わないいわゆるゼロ予算事業で、県の持つノウハウを活用し、県民サービスの一層の向上を図る「かながわ力まるごと活用事業」の一環で実施した(表3)。

動物フェスティバルの会場に体験コーナーと展示コーナーを用意した(写真4)。

子ども獣医師体験では、聴診器を使って、鶏の聴診を体験してもらった。より獣医師らしく体験できるように自作した子ども用サイズの白衣と実際家保で使用する帽子を着用してもらい、その後、聴診器の使い方などを説明した。まず、自分の胸で心音を確認してから、次に鶏の聴診をさせた。心拍の速さの違いに気づき、子ど

表3 子ども獣医師体験

II 子ども獣医師体験	
開催日	平成22年10月3日
イベント	「動物フェスティバル神奈川2010 inちがさき・さむかわ」
内容	子ども獣医師体験コーナー ・鶏の聴診 ・パソコンを使った畜産クイズ ・牛の絵と記念撮影
	
「かながわ力まるごと活用事業」 ゼロ予算、県のノウハウを活用、県民サービスの向上	

も達は興味深い表情を見せて聴診器を当てていた(写真5)。

子ども達は鶏の動きを観察したり、鶏に直接触れて体温を確認したりしていた。また、付き添いの大人も参加し、親子で鶏の聴診を体験していた。



写真4 鶏の観察や触診、親子で体験



写真5 鶏の聴診を体験

鶏の聴診だけではなく、パソコンを使った畜産クイズも用意した。クイズ作成ソフトで畜産に関する簡単なクイズ、例えば「一度に生まれる子豚の数」や「乳牛の一年間の乳量」等の問題に○×形式で答えることで、子どもたちに畜産について楽しみながら学んでもらった(写真6)。テント後方に実物大のホルスタインの絵を貼り、牛の体の大きさを実感してもらった。その前で獣医師の格好をした姿をポラロイドカメラで記念撮影し、参加者への記念品とした(写真7)。



写真6 パソコンを使った畜産クイズ



写真7 牛の体の大きさを実感する

限られた予算の範囲で、教材や内容について工夫した。天候に恵まれたこともあり、約100名の子ども達に体験してもらうことができ、参加者の笑顔が見られる好評な企画となった。このような体験を通じて、獣医師や家保の仕事についてまた、畜産について身近に感じてもらう機会になったのではないと思う。

Ⅲ 地域へのPR活動

情報発信の3番目は、地域へのPR活動を実施した(表4)。

今年度は口蹄疫の影響で開催は少なかったが、動物フェスティバルにおいて、産業動物コーナーを設け、家畜や家保業務に関するパネル展示とパンフレット配布を行った(写真8)。

地元の畜産まつりにおいて、県農業技術センター畜産技術所と協力し、畜産〇×クイズを出題した。全問正解者には主催者から地元畜産物であるプリンと卵が贈呈され、畜産のPRと地産地消につながったのではないかと思います(写真9)。

表4 地域へのPR活動

Ⅲ 地域へのPR活動	
①平成22年10月3日「動物フェスティバル 神奈川 2010 in ちがさき・さむかわ」	・パネル展示、パンフレット配布
②平成22年10月17日「伊勢原市 畜産まつり」	・畜産〇×クイズ
③平成22年10月24日「神奈川の畜産フェスティバル」	・家畜に親しむつどい 家保の施設公開



写真8 動物フェスティバルにおける
パネル展示とパンフレット配布



写真9 畜産まつりにおける畜産〇×クイズ

その他の情報発信

この他にも、管内の獣医師を対象とした獣医事講習会を各支部ごと回数を増やして開催した。また、インターネットを活用した家保ホームページやフォームメールへの対応など、様々な形で地域に対して情報を発信している(表5)。

表5 その他の情報発信

その他の情報発信	
<ul style="list-style-type: none"> ・獣医事講習会の充実 対象 地域獣医師(獣医師会と連携) 内容 獣医師法、獣医療法、各種届出の遵守 各支部ごと開催、回数を増やす 	
<ul style="list-style-type: none"> ・インターネットの活用 ①家保ホームページ ②フォームメール 	

今後の対応

様々な形で情報発信を行ったが、今後は情報の内容を充実させ、分かりやすいものを迅速に届け、また、発信回数や発信の場を増やし、情報の質、量ともに向上させていく必要があると思われた。ホームページについては、情報セキュリティを確保しながら一層の充実を図りたいと考えている。これらにより農家と関係者が一体となって地域との共生を図っていききたいと思う。

まとめ

食育出前授業や獣医師体験では、生徒やイベント参加者が楽しく畜産について学べるよう教材や内容について創意工夫した。地域への情報発信により、楽しみながら畜産や家保業務への理解を深めることができた。今後も、地域への情報発信力を高め、畜産の経営継続に役立てていきたい。

参考資料

- 1) 神奈川力構想白書2009 神奈川県政策局政策調整部
- 2) 食みらい かながわプラン（神奈川県食育推進計画） 神奈川県環境農政部環境農政総務課
- 3) わたしたちのくらしと神奈川の農林水産業 平成22年度版 神奈川県環境農政局企画調整部